

第 学年 社会科学習指導案

日時： 年 月 日 () 第 校時
 場所： 小学校 年 組
 児童： 名
 指導者： 立 小学校 ○○○○

1. 単元名 *まとまりをもった学習指導内容の単位の名称を記述する。
2. 指導について *指導者の立場で記述する。
 - (教材観) *単元の内容、既習事項との関連、単元を取り上げる意義、今後の展開、単元・教材と児童の関係などを記述する。
 - (児童観) *児童の社会科に対する興味・関心・意欲、単元に関する知識・技能、既習事項の定着度など、前単元までの実態や本単元で育てたい望ましい児童像などを記述する。
 - (指導観) *指導・支援の力点、工夫、学習形態、その他の配慮事項など、児童の良さや可能性を生かすような工夫や手立てを記述する。

3. 単元の目標(例)

*学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説等を踏まえて作成する。
 *児童の実態、前単元までの学習状況等を踏まえて作成する。
 *児童の立場で書く。「～することができる」などの文末表現にする。
 *一文で記述してもよい。

- ・ 「…を理解する。」「…調べたりして…まとめることができる。」 【知識及び技能】
- ・ 「…を着目して、…を捉え、…を考え、…表現することができる。」 【思考力、判断力、表現力等】
- ・ 「…について主体的に問題解決しようとしている。」 【学びに向かう力、人間性等】

4. 単元の評価規準(例)

*単元の評価規準の設定に当たっては、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校社会】』（令和2年3月 国立教育政策研究所）を参考にすること。
 *詳細になりすぎないように、学習指導要領の記述形式を踏まえて、以下のように作成する。

学習指導要領の記述形式

- (1) Aについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識や技能を身に付けること
 - (ア) Bを理解すること
 - (イ) Cなどで調べて、Dなどにまとめること
 - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること
 - (ア) Eなどに着目して、Fを捉え、Gを考え、表現すること

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①Eなどについて Cなどで調べて、必要な情報を集め、読み取り、Fを理解している。</p> <p>②調べたことをDや文などにまとめ、Bを理解している。</p>	<p>①Eなどに着目して、問いを見だし、Fについて考え表現している。</p> <p>②〇と〇を(比較・関連付け、総合など)してGを考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。</p>	<p>①A(に関する事項)について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。</p>

5. 指導と評価の計画(全〇時間)

※●…「記録に残す評価」

時間	ねらい	○主な学習活動 ・内容	□資料	評価方法と【評価規準】
1	例:…できるようにする。	<p>*主な学習活動は、児童の立場で簡潔に書く。</p> <p>単元の学習問題 ……は、～なのだろうか。</p>	例: □グラフ「〇〇」 □表「〇〇〇」	例:発言内容やノートの記述内容から、「…に着目して、問いを見だしているか」を評価する。 【思-①】
2		<p>*単元の評価規準で示した観点と番号を記載する。</p> <p>*評価規準は、主な学習活動に応じて、児童の立場で具体的に書く。評価方法もあわせて書く。</p> <p>*毎時間の評価の観点は、一つか二つに絞る。</p> <p>*単元のまとまりを見通し、児童全員の学習状況を記録に残す場面を精選し、かつ適切に評価するための評価の計画が必要となる。</p>		例:●ワークシートの記述内容や発言内容から「…について理解しているか」を評価する。 【知-①】
3				例:ノートの記述内容や学習計画表から、「…を見だし、見通しをもって追究しようとしているか」を評価する。 【態-①】

学習過程【学習問題をつかむ】〇・〇時 【学習問題を追究する】〇・〇時 【まとめる】〇・〇時

6. 本時の学習(〇/〇)

(1) 目標

***単元の目標、単元の評価規準、指導と評価の計画に即して、本時の目標を設定する。**

***【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】【学びに向かう力、人間性等】のうち、どの資質・能力における目標なのかを示す。**

***児童の立場で記述する。**

(2)本時の展開

	学習活動	○主な発問 ・予想される児童の反応	□資料	◆指導上の留意点 ☆評価規準【観点】
導 入 ○ 分	*児童の立場で書く。		例: □グラフ「〇〇」 □表「〇〇〇」	◆指導や支援の意図、工夫、手立てなどについて留意すべきことを、学習活動と対応させて具体的に記述する。
	本時の学習問題:			
展 開 ○ 分				◆「努力を要する」状況(C)と判断される場合における手立ての例を示す。 ☆評価規準は、「指導と評価の計画」に即して記述する。
ま と め ○ 分				

【板書計画・ノート計画・ワークシート等 必要に応じて記載するとよい。】

(参考)『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校社会』

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_shakai.pdf